

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第71回

佐賀代協

地域支える必要な存在として
来年12月に70周年を迎える

私たち佐賀県代協は、東部、西部、唐津の3支部で構成されており、正会員82、一般会員16、賛助会員7、組織率は57%となっています。

佐賀県代協が掲げる理念は「お客様から信頼されるプロフェSSIONナル代理店の育成」です。協会として会員向けに各種研修やセミナーを開催し、保険募集に関する最新知識や法令改正、リスク管理に関する情報を共有しています。直近では2025年9月に「知らない！代理店賠償責任の現実」と題してWEB講演を開催し、募集人が負う説明責任や賠償リスクについて専門家の講話を通じて理解を深めたほか、一般の方に向けたセミナーの開催についても準備を行っています。

また、県内では啓発活動にも力を入れています。毎年9月の「無保険車追放キャンペーン」ではJR佐賀駅前でチラシやリーフレットを配布し、毎年10月23日には「地震保険普及キャンペーン」として、保険会社の皆様と共にJR佐賀駅前と唐津市内にて情宣活動を行っています。佐賀県は地震の影響が少ない地域だと思われていますが、実は県内のどこにでも起きる可能性があり、2005年6月の福岡県西方沖地震において少なからず被災したことから、地震は他県事ではなく日ごろからの備えが必要であることを伝え続けています。

社会貢献活動としては、各支部において定期的に献血活動を行っています。全国的な人口減少の局面で過疎化する地域も増加する中、各地で活躍する損害保険代理店が情報インフラとして果たす役割は、今後ますます重要性を増すことは間違いありません。2026年12月に70周年を迎える佐賀県代協ですが、これまで身近なパートナーであることを広めていきたいと考えています。



地震保険キャンペーンでチラシを配布
(佐賀駅前にて)

これらの活動に取り組んで参ります。